

活動紹介①

小中連携で深める田代の教育



錦江町立田代中学校



教職員と保護者によるビブリオバトル



小中学生合同の「のぼり旗」作成



教職員合同研修会(全体会)

開校15年目を迎える本校は、今年度、全校生徒39人の学校です。本校区は、「確かな連携で学びをつなぐ」ために、田代小、大原小、田代中の三校が連携をとり教育活動を進めています。

1 保護者の連携 「合同危険箇所点検とビブリオバトル」

毎年、三校のPTA、役場、駐在所、教育委員会合同で危険箇所点検を行っています。道路の視界を塞ぐ木の枝を伐採していただいたり、路面に「スピード落とせ」の表示を書いていただいたりする等、児童・生徒の安全確保にむけて大きな成果を上げています。また、同夜に、三校合同PTA研修会を行い、教職員と

2 児童・生徒の連携 「合同のぼり旗作成」

保護者によるビブリオバトルを行いました。各校から2人ずつ参加して大いに盛り上がり、田代中学校区における「読書推進」に貢献しています。

3 職員の連携 「合同研修会」

本校区では、小中一貫教育担当者会を年6回実施し、5月と8月は三校の教職員が集まって、合同研修会を行いました。普段から学校や地域の行事等で交流を行っていた中、今年度は小学六年生と中学一年生が田代中で「かこしま国体応援のぼり旗」の作成を合同で行いました。事前に小・中縦割りのグループを編成し、担当する県に関するイラストや方言を調べました。当日は、アイデアを持ち寄り、意見や思いを交流しながら楽しく作成しました。完成した「のぼり旗」は力作ぞろいで、このような小中連携の活動は、普段から職員や

活動紹介②

学校と地域を花いっぱい！



奄美市立金久中学校

郷土の伝統・文化に誇りを持つ子どもの育成を目指した「ふるさと教育」を推進している奄美市にある本校は、奄美大島のほぼ中央に位置し、天然の良港である名瀬港に隣接しています。このような環境の中、地域に根差した教育の推進の一環として、「花づくり・花いっぱい運動」に力を入れた取組を進めています。

一、人づくり

種まきの時期を守ることや発芽するまで乾かないように注意すること、水や日光、肥料などを欠かさないことなどを花づくりに関する重要なポイントとして生徒と職員とともに共有しながら進めています。

郷土の伝統・文化に誇りを持つ子どもの育成を目指した「ふるさと教育」を推進している奄美市にある本校は、奄美大島のほぼ中央に位置し、天然の良港である名瀬港に隣接しています。このような環境の中、地域に根差した教育の推進の一環として、「花づくり・花いっぱい運動」に力を入れた取組を進めています。

二、人とのつながり

「花が咲いたあとの水やりで大切なことは、頭から水をかけないこと。これは、子どもの指導にあたって同様である。しっかりと根が届く

ように幹の部分に丁寧にかけてこそ、子どもの心にしつかりと届く。」このように、花を育てる際の先達が伝えてくださったまさに子供たちの成長にとって重要なこれらの視点を受け継ぎながら今後も進めていきたいと考えています。

これからの地域の中も地域の学校の学校として、笑顔あふれる学校づくりの小さな実践として、「花づくり・花いっぱい運動」に取り組んでいきます。 (教諭 川畑 猛)



地域の方々への花の配布の様子

地域の方々への花の配布の様子



「花が咲いたあとの水やりで大切なことは、頭から水をかけないこと。これは、子どもの指導にあたって同様である。しっかりと根が届く

ように幹の部分に丁寧にかけてこそ、子どもの心にしつかりと届く。」このように、花を育てる際の先達が伝えてくださったまさに子供たちの成長にとって重要なこれらの視点を受け継ぎながら今後も進めていきたいと考えています。

これからの地域の中も地域の学校の学校として、笑顔あふれる学校づくりの小さな実践として、「花づくり・花いっぱい運動」に取り組んでいきます。 (教諭 川畑 猛)